

2024年12月27日
HITOWA キッズライフ株式会社

～ 保育園の運営等を通して子育て支援事業を手がける HITOWA キッズライフの取り組み ～

「キッズおそうじチャレンジコラボイベント」を今年度※1 も実施！

- 本年10月、HITOWA グループの「おそうじ本舗」と連携して実施したイベントの様子もご紹介。
4～5歳の園児たちが、公園でゴミ拾いにチャレンジしました。

「生活総合支援サービス」を展開する HITOWA グループで、保育園「太陽の子」や「わらべうた」等の運営を通じて子育て支援事業を展開する HITOWA キッズライフ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：高石 尚和、以下「HITOWA キッズライフ」）では、「キッズおそうじチャレンジコラボイベント」を今年度（※1）も20園で実施することを決定しました。



「キッズおそうじチャレンジ」は、2017年にスタートした取り組みです。

<目的>

生活する場を整える意欲を育む

整った環境で心地よく過ごす中で、子どもたちは保育園を整えようとする意欲をふくらませ、自らそうじをはじめます

社会性が芽生える

子どもにとって一番身近な社会につながる活動がそうじ。

「きれいになって気持ちいい」から「誰かのためにきれいにしよう」とする気持ちを育みます

当社が運営する保育園で行う“そうじ”、“整理整頓”、“環境整備”活動の総称と位置付け、園児と保育者が一体となって日常的に取り組んでいます。

例えば、“そうじ”では、「靴箱をミニほうき・ちりとりを使ってそうじする」、「お散歩先でゴミ拾いをする”。“整理整頓”とし

では、「保育者が保育室内の棚の上を整理整頓する」、「ロッカー内の衣類を畳んで入れる」、「園児がおもちゃ棚を整理整頓する」。“環境整備”においては、「靴の中や底についた砂をきれいにしてから園に入る」、「園内に入る前に、上着についた砂やほこりを払う」などの活動に取り組んでいます。

「キッズおそうじチャレンジ」では、0～1 歳児については「保育者がおそうじ動作を言葉にして子どもに語りかけ、子ども達にとって過ごしやすい環境になるように、保育者が保育室を整備する」こと。2～3 歳児においては「子どもが身近な環境を整理整頓する、手に届く範囲で整頓する」こと。4～5 歳児では、「手に届く範囲を広げ（手に届くところから園内・園外へ）、そうじの技術も意識して取り組む」ことを“目指す姿”に設定し、皆でチャレンジしています。

※1 事業年度：2024 年 10 月 1 日～2025 年 9 月 30 日。イベントは、2025 年 9 月～10 月に実施。

※2 対象年齢は 3～5 歳児クラス

*

当社は、「心が動く体験」と「豊かな対話」でつながりを創造しながら、子ども・保護者・地域・保育者が助け合う「つながり保育」を保育理念としています。事業スローガンとして「つながる、創造する、子どもたちの今と未来」を掲げ、東京都を中心に 112 施設を運営しています（2024 年 9 月末時点）。

その一環として、HITOWA グループの一員である HITOWA ライフパートナー株式会社が展開するハウスクリーニングサービス「おそうじ本舗」と連携したイベントを希望する園 20 園で実施しています。

以下に、本年 10 月に実施したコラボイベントの様子をご紹介します。

■「おそうじ本舗」のスタッフの紙芝居に興味津々の園児たち。

イベント当日は、「おそうじ本舗」スタッフが「私は、そうじのお勉強をして、練習をして、おそうじのプロになりました」と自己紹介をすることから始まりました。参加した 4～5 歳の園児たちは早くも興味津々で見えています。

スタッフがオリジナルの紙芝居を使って問かけると、園児たちは各々、元気に声をあげて答えます。

スタッフ 「みんなはふだん、この保育園で、どんなところをそうじしているの？」

園児 「床」、「ロッカー」、「積み木」・・・

スタッフ 「おそうじができる場所は、保育園だけかな？」

園児 「家の中」、「公園」・・・

スタッフ 「今日は、みんなで公園のごみを拾いに行くよ。何をもって行くかな？（イラストを示す）」

園児 「軍手」、「トンク」、「ごみ袋」・・・

スタッフ 「公園で拾ったごみは、同じ袋に入れてもいいかな？」

園児 「同じ袋じゃだめ」、「分けるよー」・・・

園児たちと楽しくやり取りをしながら、燃やすごみと燃やさないごみを分けることや、触ると危ないものは拾わず大人に伝えること、注意事項を説明しました。

■ 公園到着後はスタッフから改めて説明を受け、トングをもらって、いよいよごみ拾いにチャレンジ！

保育園のスタッフの誘導で公園に着くと、「おそうじ本舗」のスタッフが園児たちに改めて注意事項を説明し、園長が一人ひとりにトングを手渡していきます。トングを手にした園児たちは、ワクワクと待ちきれない様子です。

「第1回戦だよ、よーいスタート！」。

スタッフの声と同時に、園児たちは散り散りに走っていきます。

「（ごみは）取り放題なの？」、「燃やすごみの袋はどれ？」と、笑顔いっぱいに取り組む園児たち。

季節柄、公園にはたくさんの落ち葉がありましたが、園児たちは丁寧にトングではさんで、スタッフがもつ大きなごみ袋まで楽しそうに運びます。

「ごみを拾ったよ」と紙ごみを見つけ嬉しそうな園児。「それは、燃やすごみかな？燃やさないごみかな？」と問いかけると、迷わず「燃やすごみ！」と答えてごみ袋に入れていました。

あっという間に10分が経ち1回目終了したら水分補給。その後はさらに10分間、2回目のゴミ拾いを楽しみました。

■ 保育園に戻ってからのミーティングでは、園児たちとスタッフの間にも「つながり」が生まれる。

公園から保育園に戻った園児たちは、疲れた顔も見せず、興奮冷めやらぬ様子で「おそうじ本舗」のスタッフによるまとめのミーティングに参加しました。

「みんな、どんなごみを拾ったかな？」という問いかけに、「紙」、「ビニール」などと元気よく答えます。「おそうじ本舗」のスタッフとも、すっかり仲良くなった様子です。

最後に、「今日、公園でゴミ拾いをやってみて、おそうじができたね。これからも、保育園やおうちでおそうじができるかな？」と聞くと、園児たちは声を揃えて「できるー！」と、自信たっぷりの笑顔で応じていたのが印象的でした。

*

来年度も、「おそうじ本舗」と連携したイベントを開催していく予定です。

■ HITOWA キッズライフ株式会社 概要

所在地： 〒106-0032 東京都港区港南 2-15-3 品川インターシティ C 棟
TEL： 03-6632-7703
URL： <https://www.hitowa.com/kids-life/>
設立： 1997年2月
事業内容： 子育て支援サービス、子育て支援施設の展開、運営、コンサルティング
代表者： 代表取締役社長 高石 尚和

<報道に関するお問い合わせ先>

HITOWA ホールディングス株式会社 担当：広報企画部 横田

TEL : 03-6632-4929 / E-MAIL : pr-hd@hitowa.com